

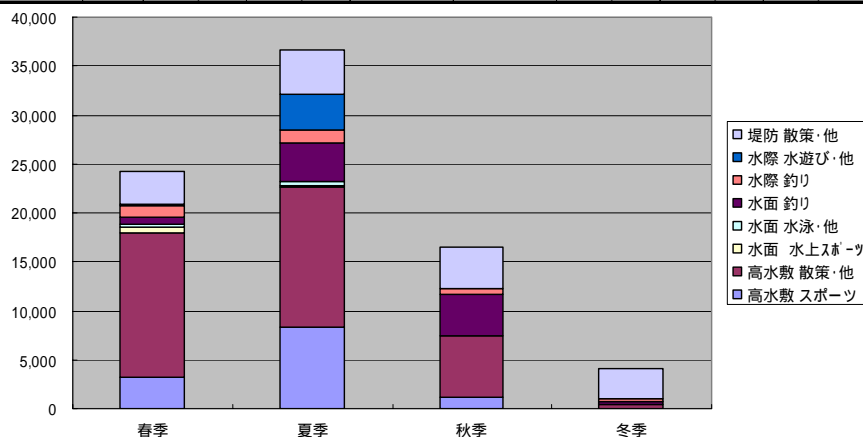
第7章 河川空間の利用状況

7-1 河川敷の利用状況

小矢部川における高水敷及び水面の総面積は、直轄管理区間ではそれぞれ 190ha 及び 379ha である。高水敷は 4～7km の左岸、11～14km 左岸付近に多く分布しているが、全体的に高水敷幅が狭い。高水敷に対する河川利用施設の占用面積の割合は、運動場約 2.6%、公園約 3.2% となっている。小矢部大堰から上流は高水敷を使った自然的利用がほとんどで、その下流では自然的利用と公園等の施設的使用がある。そのうち施設的使用における利用施設は公園・緑地が 8 箇所、運動場が 6 箇所である。

小矢部川は堤防での散策利用が多く、年間を通じて約 18%の利用者があり、利用者数も年間を通じてあまり変動が無く 3千～4千人である。他河川では同様事項は見受けられず、本川のみ傾向である。これは、ジョギング等の日々の利用が多く、休日等の特別な利用が限られている事が推察される。

季節	調査日	日数	高水敷		水面			水際		堤防 散策 その他
			スポーツ	散策 その他	水上 スポーツ	水泳 その他	釣り	釣り	水遊び その他	
春季	(3/1～5/31 92日)	92	3,173	14,735	603	263	817	1,139	214	3,225
夏季	(6/1～8/31 92日)	92	8,264	14,421	130	353	4,029	1,243	3,637	4,540
秋季	(9/1～11/30 91日)	91	1,133	6,350	0	0	4,260	592	0	4,217
冬季	(12/1～2/28 90日)	90	0	438	0	0	308	328	0	3,051
合計		365	12,570	35,944	733	616	9,414	3,302	3,851	15,033



河川名	平成15年度	平成18年度
常願寺川	368(千人)	1,103(千人)
神通川	511(千人)	283(千人)
庄川	500(千人)	296(千人)
小矢部川	155(千人)	81(千人)
合計	1,534(千人)	1,763(千人)

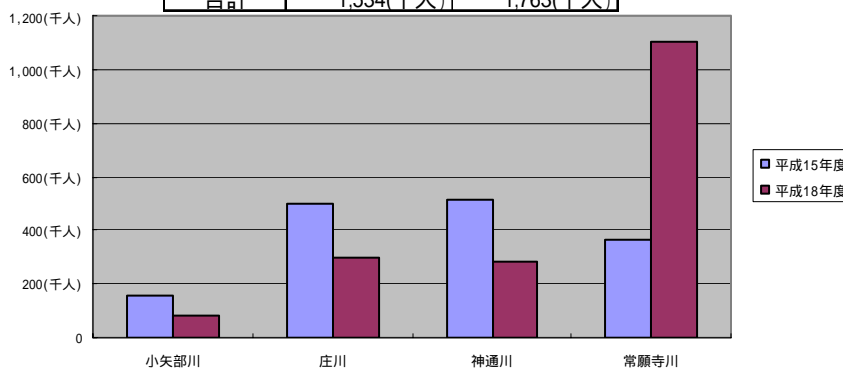


図 7-1 富山県内主要 4 河川の河川利用状況

出典：平成 18 年度 河川空間利用実態調査 報告書

表 7-1 小矢部川の河川利用施設 (H18)

河川名	NO.	距離標 (km)	左右岸	施設名	種類	施設面積 (㎡)	管理者名
小矢部川	1	2.0	左	伏木河川公園	公園・緑地	4,916	高岡市
	2	6.0 ~ 6.1	左	渡り河川公園	公園・緑地	4,565	高岡市
	3	11.3 ~ 11.5	左	国条橋運動公園	公園・緑地	6,000	高岡市
	4	19.5 ~ 20.3	左	土屋親水公園	公園・緑地	19,000	高岡市
	5	25.2 ~ 26.2	左	小矢部河川公園	公園・緑地	30,374	小矢部市
	6	27.0 ~ 27.5	右	小矢部川水辺の楽校	公園・緑地	10,000	小矢部市
	7	32.4 ~ 32.8	左	小矢部市老人保養広場	公園・緑地	3,483	小矢部市
	8	34.7	左	小矢部市大堰公園	公園・緑地	128	小矢部市

河川名	NO.	距離標 (km)	左右岸	施設名	種類	施設面積 (㎡)	管理者名
小矢部川	1	2.8	右	米島河川公園	運動場	3,706	高岡市
	2	12.9 ~ 13.0	左	教養施設	運動場	1,321	社会福祉法人 高岡愛育園
	3	14.4 ~ 14.7	右	国東橋運動広場	運動場	12,804	高岡市
	4	18.4 ~ 18.5	右	三日市橋下流グラウンド	運動場	7,000	高岡市
	5	32.8	左	ターゲット・バードゴルフ場	運動場	3,465	小矢部市
	6	34.2 ~ 34.6	左	小矢部川大堰河川公園	運動場	15,674	小矢部市

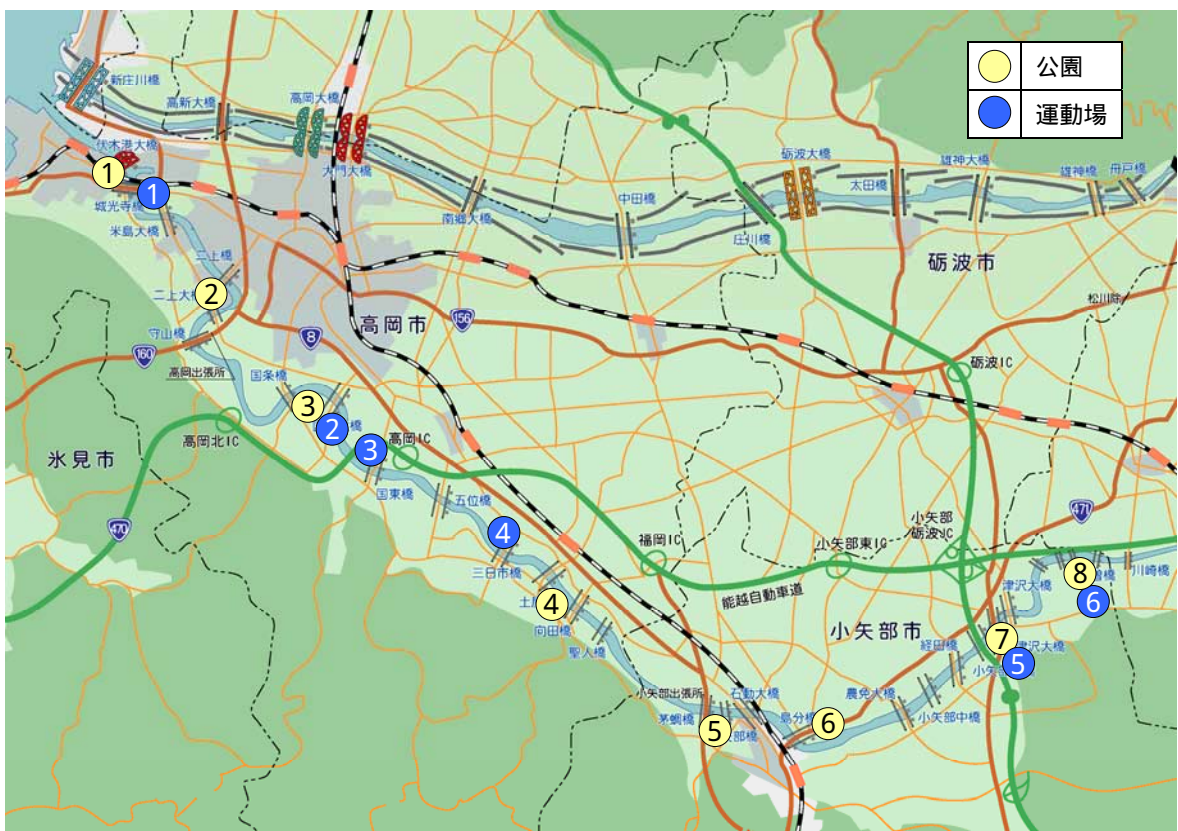


図 7-2 小矢部川河川空間利用施設位置図



土屋親水公園

人工水路や池、親水護岸等が設置されている。毎年夏季、高岡市等によりコイのつかみ取りや花火大会など様々なイベントに多数の地域住民が参加するリバーサイドフェスタが開催されている。



小矢部河川公園

ゲートボールやキャッチボール等に使用されるグラウンドと、大規模な菖蒲園から構成される。毎年6月には花菖蒲祭り、8月には夏祭りが開催され、多数の地域住民が参加する。



小矢部川 水辺の楽校

水の豊かな自然環境や水辺に生息・生育する多様な生き物とふれあえるように整備された。地元小中学校参加による水生生物による簡易水質調査などが行われている。



国東橋運動広場

野球やゲートボール等に使用されるグラウンドやテニスコートが設置されている。また、周辺部の河原ではバーベキュー等を楽しむ多くの市民で賑わう。



福岡防災ステーション

防災情報の収集・発信、水防活動や緊急復旧等を円滑に行うために造られた。緊急時には総合防災の最前線基地として活用され、平常時には一般に開放することにより水辺の総合学習や地域交流の場として利用することができる。

7 - 2 河川の利用状況

7 - 2 - 1 河川空間の利用状況

小矢部川の年間河川空間利用者総数(推定値)は約8万人である。沿川市町村人口(約31万人)からみた年間平均利用回数は約0.3回となる。

年間利用者数は、平成15年度の約16万人と比べ、約8万人と大幅に減少している。利用形態別の利用状況は平成15年度と比べ散策等利用分が、スポーツ利用として増加し、散策等(63%)、スポーツ(15%)となっている。一方、水遊び(6%)、釣り(16%)は、利用形態が反転している。

利用場所別の利用状況は平成15年度及び平成18年度共に高水敷が約6割で、最も多い。また、平成15年度と比べると水面が増加し、前回(1%)が今回(14%)と1割強を占めている。

小矢部川における河川空間利用は、高水敷幅が狭い為、スポーツの割合は比較的少なく、堤防を利用した散策等が多い。高水敷の自然を利用したイベント等が行われれば、河川空間利用者は、年々増加していくと考えられる。

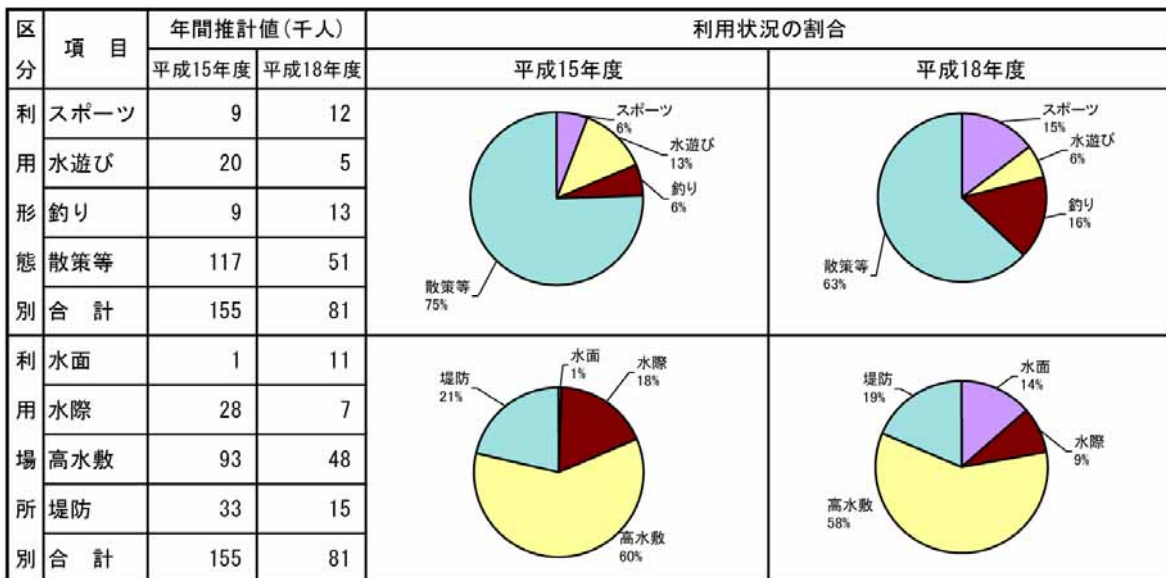


図 7-3 小矢部川における河川利用状況(直轄管内)



釣り利用(旅川合流点)



スポーツ利用(国東橋運動広場)

7 - 2 - 2 漁 業

小矢部川では、小矢部川漁業協同組合が漁業権を有し、漁業資源の保護等の管理を行っている。漁業対象区域・魚種は以下のとおりであり、漁獲量を表7-2に示す。

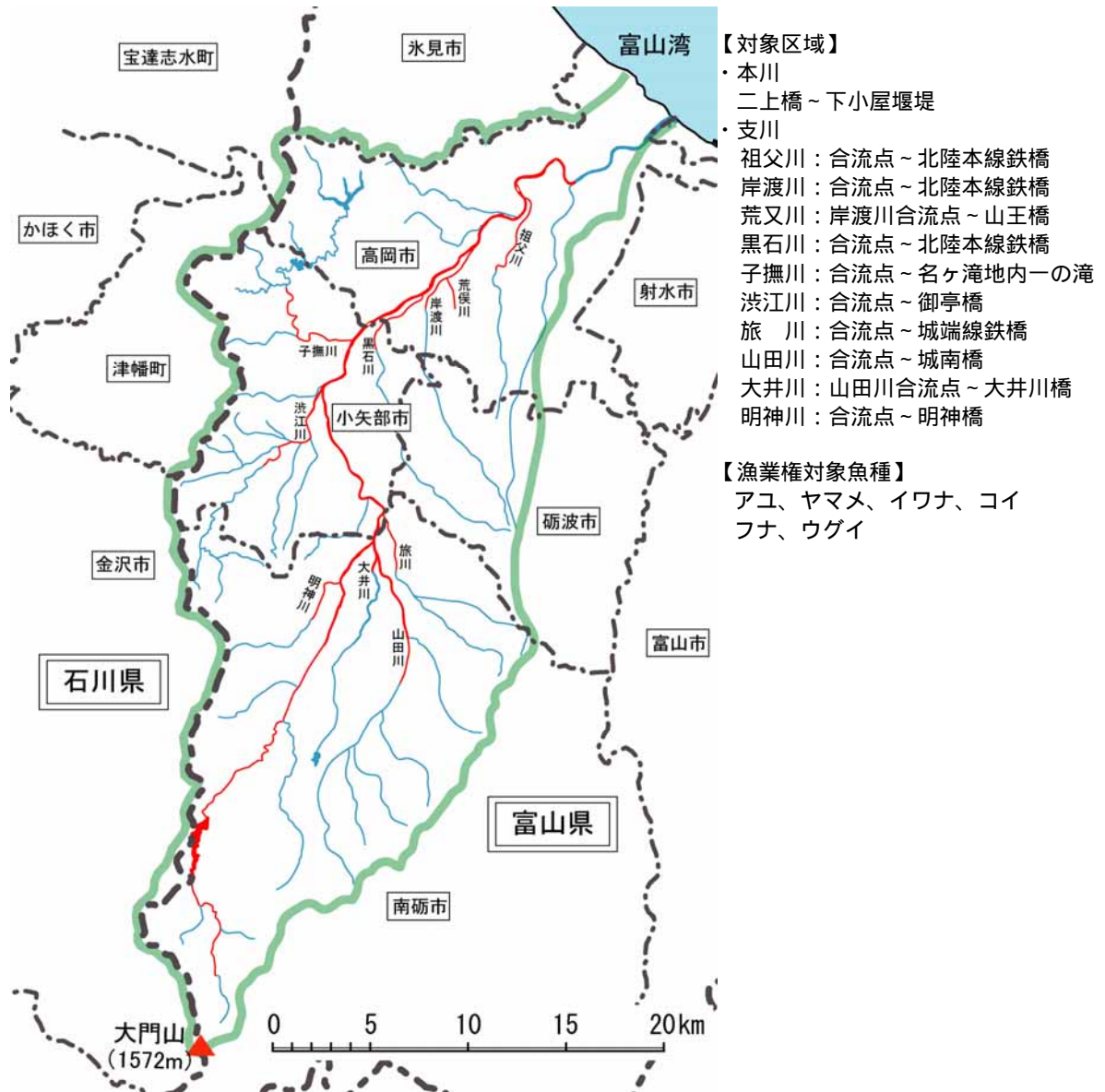


図 7-4 小矢部川における漁業権設定範囲

表 7-2 小矢部川の漁獲量

対象魚種名	漁獲量 (t / 年)								
	1995 H7	1996 H8	1997 H9	1998 H10	1999 H11	2000 H12	2001 H13	2002 H14	2003 H15
サケ類	16	2	5	4	6	4	7	10	7
アユ	9	4	4	4	4	4	3	3	3
コイ	7	7	7	6	7	6	6	6	6
フナ	1	1	1	1	1	1	1	1	1
ウグイ	9	9	10	9	10	9	9	9	9
その他	10	5	9	7	7	6	6	6	6

出典：富山県漁業の動き